

1960年代から80年代の理学部物理学科卒業アルバム

大学文書資料室では、1960年代から80年代にかけての理学部物理学科の卒業アルバムを16冊所蔵しています。名大全体のアルバムが製作されるようになったのは、1980年代後半に入ってからです。アルバムが残っていない学部もあり、この年代のものは特に貴重です。

学科単位のものとなると、ほとんど所蔵していません。学科のアルバムは、学生生活を濃密に過ごした学科内の雰囲気を知ることができるという点で、大学や学部のそれとはまた違った歴史資料としての価値があります。これらの物理学科のアルバムですが、独自の装丁で

写真も文字も印刷で作られるようになったのは1980年代に入ってからです。60年代は、市販のアルバムを少し加工して、写真を貼っていました。キャプションも、全くないか、紙に書いて貼るくらいでした。70年代に入っても、やはり装丁は市販のものを加工しただけで、手作り感が濃厚です。ただ、キャプションなどの文字の部分は手書きながら印刷になり、ある程度の部数が作られたことが分かります。

こういったアルバムをお持ちでしたら、情報だけでもぜひ大学文書資料室にお寄せください。



- 1 H研（宇宙線研究室）の学生たち（1966年度卒業アルバムより）。
- 2 E研（素粒子論研究室）の記念写真（1969年度卒業アルバムより）。
益川敏英特別教授（一番左）、小林 誠特別教授（中央）も写っている。
- 3 飛騨数河スキー旅行にて（1970年度卒業アルバムより）。
- 4 1974年度卒業アルバムの1ページ。
- 5 1985年度卒業アルバムの1ページ。
- 6 大学文書資料室が所蔵する理学部物理学科のアルバム（1965～87年度、写真は左から右へ年代順）。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学基金のご案内

名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策緊急学生支援基金ご支援のお願い

現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延しており、健康医療は言うに及ばず、私たちの社会活動に広範かつ深刻な影響を及ぼしております。名古屋大学の学生への影響も甚大であり、学ぶ意欲をもちながらも困窮している学生の支援や、遠隔授業等の学習環境整備により、質の高い教育活動を維持するため、ご支援をお願いいたします。

Webでもご寄附を受け付けております。



<https://fundexapp.jp/nagoya-u/entry.php?purposeCode=110000>

ご寄附のお申込み、お問い合わせはDevelopment Office（DO室）あて（電話052-789-4993、Eメールkikin@adm.nagoya-u.ac.jp）をお願いいたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

アクセスはこちらから

名古屋大学基金

<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/>

